

科目名	精神保健看護学特論 Topic in Psychiatric and Mental Health Nursing
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春学期 BC 月曜日3・4限目
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問することmori@md.tsukuba.ac.jp sugaya@mdtsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)精神障害者、精神的な問題を抱えた人に関係する日本及び欧米における精神保健福祉の制度の現状と問題点を説明し、今後の課題を提示できる (2)精神的な問題を抱えた人とその家族を理解し、精神・身体状態を評価するために必要な理論と方法について説明できる (3)プレゼンテーションや討議を通して、精神保健福祉の制度と体制に関する自分自身の考えを明確にできる (4)討議を通して対象者を理解し精神・身体状態を評価するための理論と方法について、高度な精神看護実践を行う上での課題を述べることができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程履修希望者、精神看護学分野で看護科学特別研究を受講する者は必修
履修条件	なし
授業概要	専門性の高い精神看護を行う上での基盤となる精神保健医療福祉に関する制度と体制、精神的な問題を抱えた人の精神・身体状態の評価に必要な理論と方法を習得する。
キーワード	精神保健医療福祉制度、精神保健医療福祉体制、歴史、精神症状のアセスメント
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(精神障害者看護学特論概説) (森 千鶴) 2(精神保健医療福祉・看護の歴史-欧米) (森 千鶴) 3(精神保健医療福祉・看護の歴史-日本) (森 千鶴) 4(我が国の精神保健福祉制度の現状と問題点) (森 千鶴) 5(我が国の精神保健福祉制度の今後の課題①) (森 千鶴) 6(我が国の精神保健福祉制度の今後の課題②) (森 千鶴) 7(海外の精神保健福祉制度の現状と問題点) (森 千鶴) 8(海外の精神保健福祉制度の今後の課題) (森 千鶴) 9(精神・身体状態の評価-メンタルヘルス・エグザミネーション①) (森 千鶴) 10(精神・身体状態の評価-メンタルヘルス・エグザミネーション②) (森 千鶴) 11(精神・身体状態の評価-心身相互作用のアセスメント①) (菅谷智一) 12(精神・身体状態の評価-心身相互作用のアセスメント②) (菅谷智一) 13(精神・身体状態の評価-精神科診断学①) (菅谷智一) 14(精神・身体状態の評価-精神科診断学②) (菅谷智一) 15(精神・身体状態の評価-精神科臨床検査学①) (森 千鶴) 16(精神・身体状態の評価-精神科臨床検査学②) (森 千鶴) 17(精神・身体状態の評価-精神力動的アセスメント①)(菅谷智一) 18(精神・身体状態の評価-精神力動的アセスメント②)(菅谷智一) 19(精神保健医療福祉の制度と体制のあり方) (森 千鶴) 20(総括) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する  課題学習を行う。課題は概説の時に説明する

成績評価方法	<p>2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする          課題学習に対するプレゼンテーションと資料を以て評価をする          評価基準：          A+ 課題に沿って学習した内容を相手にわかりやすくプレゼンテーションでき、他者のプレゼンテーションに対してもディスカッションできる          A 課題に沿って学習した内容を相手にわかりやすくプレゼンテーションし、他者のプレゼンテーションに対して質問できる          B 課題に沿って学習した内容を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる          C 課題に沿って調べた内容をプレゼンテーションできる          D 課題に沿って学習しておらず、プレゼンテーションできない</p>
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う          精神看護専門看護師養成課程履修希望者以外の学生も受講することができる。自ら積極的に学び、科学的、論理的な視点を持って討議に参加すること</p>